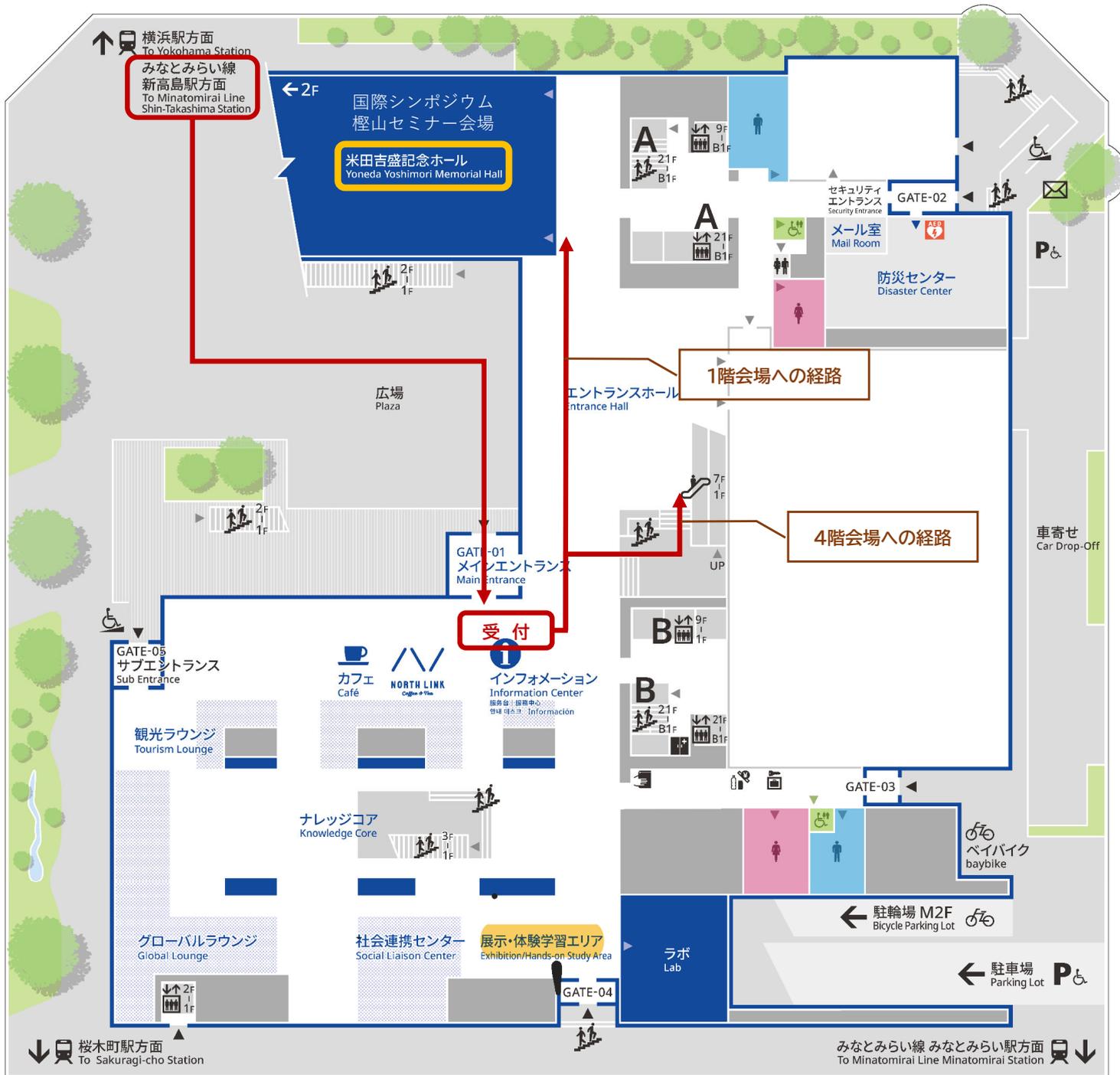


2024年度アジア政経学会春季大会プログラム兼会場案内

15日(土)		
10:00-12:00	<p><b>自由論題1 東南アジアの政治と経済</b> 司会者:大泉啓一郎(亜細亜大学) 発表者1:小西鉄(福岡女子大学)「コロナ禍期インドネシアにおける国家資本主義の変質:金融オムニバス法が拓く「ガルーダ」の拡大」 発表者2:レナチャンニユン(拓殖大学院)「ベトナムにおける海外直接投資からの技術スピルオーバー効果について」 発表者3:松尾昌宏(桜美林大学)「国際コンテナ物流から見た、インドシナ地域経済中心地の交替」 討論者:佐藤百合(国際交流基金)、グエン・トゥイ(千葉商科大学)、遠藤元(大東文化大学)</p> <p><b>自由応募分科会1 量的テキスト分析による現代中国研究:「古くて新しい方法」のレビューと実装</b> 司会者:林載桓(青山学院大学) 発表者1:林載桓(青山学院大学)「量的テキスト分析による現代中国研究:源流・再興・課題」 発表者2:御器谷裕樹(慶應義塾大学院)「中国共産党による国内・対外宣伝の計量分析:危機下における正統性維持に注目して」 発表者3:于海春(北海道大学)「中国の政治コミュニケーションにおけるソーシャルメディア利用:党報Weiboの比較分析から」 討論者:菱田雅晴(法政大学名誉教授)、渡辺耕平(早稲田大学)</p> <p><b>自由応募分科会2 戦後台湾のトップリーダーたちの対日認識と政策:国民党を中心に</b> 司会者:李鋼哲(東北亞未来構想研究所) 発表者1:段瑞聡(慶應義塾大学)「佐藤栄作の台湾訪問と蒋介石の対応」 発表者2:陳柏宇(新潟県立大学)「李登輝の対日観におけるアジア主義の考察」 発表者3:深串徹(島根県立大学)「馬英九の外交思想と対日政策」 討論者:武藤秀太郎(新潟大学)、深町英夫(中央大学)</p>	<p>4006講義室(4F)</p> <p>4007講義室(4F)</p> <p>4008講義室(4F)</p>
12:00-13:30	<p><b>昼食</b></p> <p>理事会(12:00-12:30)</p> <p>評議員会(12:45-13:20)</p>	<p>4028講義室(4F)</p> <p>4029講義室(4F)</p>
13:30-15:30	<p><b>自由論題2 中国の政治・対外政策</b> 司会者:青山瑠妙(早稲田大学) 発表者1:張徳謀(九州大学院)「冷戦初期中国の対日本社会党政策:「平和共存五原則」の日本への適用過程」 発表者2:劉一鶴(慶應義塾大学院)「中国の政策決定過程における競争と交渉:国家環境保護総局の事例と「使い捨てる同盟」戦略」 発表者3:趙紆程(京都大学院)「米中対立と経済安全保障:対内投資規制の立案過程を事例に」 討論者:杉浦康之(防衛研究所)、渡辺直土(熊本大学)、杉之原真子(フェリス女学院大学)</p> <p><b>自由論題3 中国の経済と社会</b> 司会者:巖善平(同志社大学) 発表者1:章超(同志社大学院)「中国・西部地域におけるインフラ建設の経済発展への影響に関する実証分析:空間ダービンモデルに基づいて」 発表者2:高キン(東洋大学院)「中国における農村住民の市民化の生活満足度に関する実証研究:農村から都市への移住を中心として」 発表者3:張馨元(横浜国立大学)「The Supply and Demand of Edible Beans in China: An Analysis Using the Food Values」 討論者:橋口善浩(アジア経済研究所)、山田七絵(アジア経済研究所)、菅沼圭輔(東京農業大学)</p> <p><b>自由論題4 政党・党組織研究</b> 司会者:加茂具樹(慶應義塾大学) 発表者1:和田知樹(北海道大学院)「中国国民党政権における「以党治国」の逸脱:第4次「田剿」作戦期の党政関係を中心として」 発表者2:橋本誠浩(久留米大学)「規模と中国共産党政権:民主集中制下での「コミュニティ」建設」 発表者3:伊賀司(名古屋大学)「反体制運動から政権与党へ—マレーシア・人民公正党(PKR)の政党組織論的研究序説(1998~2022年)」 討論者:阿南友亮(東北大学)、江口伸吾(南山大学)、中村正志(アジア経済研究所)</p>	<p>4006講義室(4F)</p> <p>4007講義室(4F)</p> <p>4008講義室(4F)</p>
15:45-18:15	<p>国際シンポジウム・樺山セミナー「抑圧と抵抗の時代:アートとアクティビズムはアジアを変えるか?」</p>	<p>米田吉盛記念ホール(1F)</p>
16日(日)		
10:00-12:00	<p><b>自由論題5 中国金融</b> 司会者:梶谷懐(神戸大学) 発表者1:南川高範(札幌学院大学)「国際的に移動する過剰流動性と日中資産価格の騰落に関する研究」 発表者2:岡本至(文京学院大学)「中国不良債権「処理回避」の理論的分析:習近平のプリンシパルは誰か」 討論者:劉亜静(広島修道大学)、福本智之(大阪経済大学)</p> <p><b>自由応募分科会3 革命と中国社会の変容:「日常の政治」の視点から</b> 司会者:鄭浩瀾(慶應義塾大学) 発表者1:丸田孝志(広島大学)「中華人民共和国婚姻法と革命軍人の婚姻問題」 発表者2:泉谷陽子(フェリス女学院大学)「若き女性同志たちの悩み:毛沢東時代に日記を書くこと書かないこと」 発表者3:大濱慶子(神戸学院大学)「中華人民共和国建国初期の大衆娯楽の創出とダンス」 討論者:朱安新(中国南京大学)、鄭成(兵庫県立大学)</p> <p><b>自由応募分科会4 『国なき民』クルド人の出版と民族意識</b> 司会者:熊倉潤(法政大学) 発表者1:能勢美紀(アジア経済研究所)「トルコと欧州におけるクルド関係出版物の特徴と連関:クルドアイデンティティに関する言説を中心に」 発表者2:阿部達也(上智大学院)「クルディスタンのマドラサの歴史と文化的影響」 発表者3:寺本めぐ美(津田塾大学)「1980年代のオランダにおけるクルド系移民・難民の政治運動:オランダ語雑誌を手がかりに」 討論者:熊倉潤(法政大学)、粕谷元(日本大学)</p>	<p>4006講義室(4F)</p> <p>4007講義室(4F)</p> <p>4008講義室(4F)</p>
12:00-13:00	<p><b>昼食</b></p>	
13:00-16:00	<p><b>共通論題 「アジア海洋秩序の現段階:グレーゾーン紛争と経済」</b> 司会者:大庭三枝(神奈川大学) 発表者1:古谷健太郎(政策研究大学院大学・慶應義塾大学・海上保安大学校)「中国の海上におけるグレーゾーン戦略と周辺国の対応」 発表者2:佐藤孝一(桜美林大学)「東シナ海・南シナ海における中国の海洋攻勢の構図」 発表者3:魏鍾振(九州産業大学)「東アジアにおける国際秩序の形成に資する安定的な国際海上輸送の確保」 発表者4:毛利亜樹(筑波大学)「フィリピンにおける第三国の軍事プレゼンスに関する中国の言説—新EDCA拠点と台湾問題の関連を中心に—」 討論者:益尾知佐子(九州大学)、春日尚雄(亜細亜大学)、大庭三枝(神奈川大学)</p>	<p>米田吉盛記念講堂(4F)</p>

# 1F



# 4F

